

- ▶ **結節性紅斑** → 18章 p.333 参照.
- ▶ **硬結性紅斑** → 18章 p.334 参照.

## B. 環状紅斑 annular erythema

小紅斑として初発し、遠心性に拡大する一方で中心部が消退し、その結果、環状の紅斑を形成する。このような皮疹の出現が主体の疾患の総称である。環状を呈する他の疾患（**乾癬**、**蕁麻疹**、**体部白癬**など）の場合は環状紅斑とはいわない。感染症や内臓悪性腫瘍、**膠原病**、薬剤などを背景として発症することがある。原疾患や臨床像の違いにより、**表 9.5**のように分類されている。膠原病を背景とする環状紅斑は12章を参照。

### 1. 遠心性環状紅斑 erythema annulare centrifugum ; EAC ★

同義語：ダリエー Darier 遠心性環状紅斑

#### 症状

壮年の男女に好発する。体幹部や四肢の中枢側に、直径2 cm 大くらいの浸潤を伴う浮腫性紅斑が生じ、次第に周囲へ遠心性に拡大する。中心部は退色し、辺縁は堤防状に隆起し、輪状ないし不規則な環状紅斑となる（**図 9.5**）。辺縁にわずかな鱗屑を付着することもある。皮疹は多発、融合して連圈状あるいは地図状となることもある。拡大は2週間前後続き、数週～数か月で軽度の色素沈着を残して治癒する。瘙癢などの自覚症状は通常なく、年余にわたって再発を繰り返すことも珍しくない。

#### 病因

原因不明。一部の症例では慢性感染病巣（扁桃腺炎、うし齧歯など）や内臓悪性腫瘍が関与することもある。

#### 病理所見

真皮全層の血管周囲に、coat-sleeve 状と表現される密なリンパ球細胞浸潤を認める。

#### 治療

ステロイド外用や抗ヒスタミン薬内服を行う。原因疾患が推定できるときは、その治療を行う。

### 表 9.5 環状紅斑の分類

遠心性環状紅斑 (erythema annulare centrifugum)
感染症に伴う環状紅斑
・慢性游走性紅斑 (erythema chronicum migrans)
・リウマチ性環状紅斑 (erythema annulare rheumaticum)
膠原病を背景とする環状紅斑
・ Sjögren 症候群 (p.198 参照)
・ 新生児エリテマトーデス (p.187 参照)
・ 亜急性皮膚エリテマトーデス (SCLE) (p.186 参照)
悪性腫瘍に伴う環状紅斑
・ 匍行性迂回状紅斑 (erythema gyratum repens)
・ 壊死性游走性紅斑 (necrolytic migratory erythema)



図 9.5① 遠心性環状紅斑 (erythema annulare centrifugum)



図 9.5② 遠心性環状紅斑 (erythema annulare centrifugum)



図 9.6 匍行性迂回状紅斑 (erythema gyratum repens)

## 2. リウマチ性環状紅斑 erythema annulare rheumaticum

同義語：erythema marginatum (rheumatica)

### 症状・病因

レンサ球菌感染症であるリウマチ熱 (rheumatic fever) の初期に生じる環状紅斑で、約 5～30% の症例で出現する。主として体幹に小紅斑ないし丘疹として初発、数時間で周辺へ向かって拡大し、不規則で辺縁がわずかに隆起した環状紅斑となる。数時間から 2～3 日で消失するが次々と新生し、皮疹が移動するようにみえることもある。数週にわたり出没を繰り返す。臨床的に蕁麻疹と類似することがあるが、本症では痒痒はない。

### 治療・予後

リウマチ熱の治療 (抗菌薬および全身管理) に準じる。皮疹そのものは自然に消失する。リウマチ熱の症状、とくに心病変の経過が全身予後に大きく影響する。

## 3. 匍行性迂回状紅斑 erythema gyratum repens

体幹および四肢に生じる規則正しい縞模様～木目状の環状紅斑で、急速に広がり痒みが強い (図 9.6)。80% 以上の症例で内臓悪性腫瘍 (肺癌、乳癌、膀胱癌など) が発見されるが、他の疾患 (SLE や乾癬など)、あるいは基礎疾患なく生じることもある。内臓悪性腫瘍の治療により速やかに消退する。

## 4. 壊死性遊走性紅斑 necrolytic migratory erythema

グルカゴノーマ (グルカゴン産生膵内分泌腫瘍) に伴う皮膚症状。辺縁に水疱、びらん、痂皮や膿疱を伴い、中央に色素沈着を残して環状または地図状に拡大する。数週間の経過で増悪と軽快を繰り返す。殿部、下肢、顔面に好発し、**亜鉛欠乏症候群** (17章 p.303 参照) に類似することがある。

▶ **慢性遊走性紅斑** → 28章 p.539 参照。